# Vitality Index | 採点・評価票

5項目・各0〜2点・合計0〜10点　/　生活行動を観察して評価

氏名・ID：_____　評価日：_____　評価者：_____

観察期間・場面：_____　情報提供者：_____

## 1　起床　得点：　/2

2点　普段の決まった時刻に自ら起きる

1点　起こす必要がある日もある

0点　自発的には起きない

## 2　意思疎通　得点：　/2

2点　本人から挨拶・会話を始める

1点　声をかけると返事や笑顔を示す

0点　呼びかけへの反応を認めない

## 3　食事　得点：　/2

2点　自発的に食べる意向・行動を示す

1点　勧めると食べようとする

0点　食への関心や摂取しようとする様子がない

## 4　排泄　得点：　/2

2点　常に自ら尿便意を知らせる、または自分で排泄する

1点　尿便意を知らせることが時々ある

0点　排泄への関心を認めない

## 5　リハビリ・活動　得点：　/2

2点　自ら参加に向かう、または活動を求める

1点　誘いかけによって参加する

0点　拒否、または関心を示さない

**合計：　　/10点　　未確認項目：_____**

未確認を0点で埋めず、理由を記録。全項目が確定するまで完全な総点は出さない。

除外規定：意識障害、重い臓器障害、発熱を伴う肺炎などの急性疾患。

採点前に2ページ目の注意点を確認。条件に該当する場合は病態・適用の確認を優先。

日本老年医学会の公開票をもとに説明を要約した編集版。原票と併用してください。

# 採点で迷いやすい点｜観察メモ

介助量・発語量だけで意欲を決めない

## 1　起床

睡眠薬等の影響を除いて判断。起座不能でも、開眼して覚醒していれば2点。

観察した行動・促し・条件：

---

## 2　意思疎通

失語があっても、表情や身振りなど言語以外の表現で判定できる。

観察した行動・促し・条件：

---

## 3　食事

器質的消化器疾患の影響を除く。麻痺で介助が必要でも、積極的な摂取反応があれば2点。

観察した行動・促し・条件：

---

## 4　排泄

失禁自体で減点しない。尿意が不明でも、失禁後の不快を常に伝えるなら2点。

観察した行動・促し・条件：

---

## 5　リハビリ・活動

散歩・レクリエーション・テレビ等も対象。寝たきりでは受動的な運動への反応をみる。

観察した行動・促し・条件：

---

補足：必要なケアを控えて自発性を試さない。食事は摂取許可・嚥下条件を守る。

本人が断る理由（痛み・疲労・好み等）も記録し、参加を強制しない。

https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/tool/pdf/tool_12.pdf

# 経過記録｜反応と支援を共有する

総点だけでなく、項目別の点数・背景・対応を記録

氏名・ID：_____　生活上の目標：_____

| 項目 | 前回 | 今回 | 次回 |
|---|---|---|---|
| 評価日・観察期間 | | | |
| 起床 /2 | | | |
| 意思疎通 /2 | | | |
| 食事 /2 | | | |
| 排泄 /2 | | | |
| 活動 /2 | | | |
| 合計 /10 | | | |

## 変化した行動 / 促しへの反応

## 体調・薬剤・環境・本人の希望

## 対応と次回の確認事項

原著：Toba K, et al. Geriatr Gerontol Int. 2002;2:23–29.

https://doi.org/10.1046/j.1444-1586.2002.00016.x

点数だけで、うつ病・アパシーの診断やリハビリ適応を確定しません。